

2013年度第1回_学力推移調査_中1国語過去問

問題1：

次の(1)～(3)の傍線部の漢字の読み方が他と異なるものを、
後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

設問1：

(1)

①

変色

②

色素

③

着色

④

原色

1

2

3

4

設問2： (2)

①

絵
画

②

油
絵

③

絵
本

④

砂
絵

1

2

3

4

設問3： (3)

①

銭湯

②

湯治

③

給湯

④

湯気

1

2

3

4

問題2：

つずつ選べ。

次の(1)～(3)の傍線部のカタカナを漢字で書いたときに、
同じ漢字で書くものを、後の①～④のうちからそれぞれ一

設問1：

- (1) ドウ心ドウシンに返カエって遊アソぶ。
- ① 地域の兎ウサギドウ公園ドウコウエンに行く。
- ② 選手を先マドウする。
- ③ 経済のドウ向ドウキョウをさぐる。
- ④ 駅前にドウ像ドウゾウを建てる。

1

2

3

4

設問2：

- (2) 人類の存ボウの危機。
- ① 野球選手がボウ投する。
 - ② 展ボウ台に登る。
 - ③ 消ボウ車を呼ぶ。
 - ④ となりの国にボウ命する。

1

2

3

4

設問3 :

- (3) パソコンのデータをフツ旧する。
- ① 資料をフク写して配る。
 - ② 国語のフク習をする。
 - ③ 薬のフク作用について聞く。
 - ④ 山の中フクで休む。

1

2

3

4

問題3：

次の①～⑥の漢字を総画数が少ない順に並べかえたときに、二番目と五番目にくるものを、それぞれ一つずつ選べ。

設問1：

④ ①

優 筆

⑤ ②

墓 磁

⑥ ③

側 誕

三：〈正解〉5

1 2 3 4 5 6

五：〈正解〉3

1 2 3 4 5 6

〈問題3の解説〉

漢字の画数に関する設問。

漢字を覚える際は筆順にも注意し、書く際は一画ずつ、ていねいに書くようにしよう。①〜⑥の筆順は

①筆 ↓ ノ、マ、ハ、キ、ヒ、フ、キ、キ、キ、筆

②磁 ↓ 一、フ、ア、イ、ク、ク、ク、ク、磁、磁、磁

③誕 ↓ ・、ム、ミ、ミ、ミ、ミ、ミ、ミ、ミ、誕、誕、誕

④優 ↓ ノ、イ、イ、イ、イ、イ、イ、イ、優、優、優、優

⑤墓 ↓ 一、一、一、一、一、一、墓、墓、墓、墓

⑥側 ↓ ノ、イ、イ、イ、伊、伊、伊、伊、側、側

となるので、総画数の少ない順に並べると、⑥(十一画) ↓ ①(十二画) ↓ ⑤(十三画) ↓ ②(十四画) ↓ ③(十五画) ↓ ④(十七画) となる。

問題4：

- ① 音＋音
- ② 訓＋訓
- ③ 音＋訓
- ④ 訓＋音

次の(1)～(3)の熟語の読みの構成を、後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

設問1：

(1) 番組

1

2

3

4

設問2 : (2)

花火

1

2

3

4

設問3 : (3)

手帳

1

2

3

4

問題5：

次の①～⑤の言葉を国語辞典に出てくる順に並べかえたとき、二番目にくるものを選べ。

設問1：

④ ①

パイ 梅^{ばい}
イ 雨^う

⑤ ②

パイ 売^{ばい}
イ 却^き
キン^{キン}
グ

③

魔^ま
棄^い

1

2

3

4

5

<問題5の解説>

国語辞典の使い方に関する設問。

国語辞典は、一般的に次の順で並べられている。

・五十音順、字数の少ない順

・清音(「き」も「く」もつかない音) ↓ 濁音(「ぐ」のつく音) ↓ 半濁音(「ん」のつく音)の順

したがって、「パイ」 ↓ 「梅雨」 ↓ 「廃棄」 ↓ 「売却」 ↓ 「バイキング」となるので、正解は③。

問題6：

ちから一つ選べ。

敬語の使い方として**適当でないもの**を、次の①～④のうち

設問1：

- ④ 私はお茶とロールケーキをいただきました。
- ③ この人形を先生の娘むすめさんに差し上げます。
- ② 雨ですべりますので足元にご注意ください。
- ① 先生は私たちの作品を拝見していました。

1

2

3

4

<問題6の解説>

敬語に関する設問。

敬語は、その言葉が誰の動作を表しているかに注目する。また、目上の人に正しい敬語を使えるように、ふだん普段から意識しておくことも大切である。

- ① 「拝見していました」が不適當。「拝見する」は謙讓語で、自分や身内の動作に使う。先生が見ていたということを表したい場合は「ご覧になっていました」などを用いるのがよい。
 - ② 「ごーください」は、相手に依頼するときにする尊敬表現なので適當。
 - ③ 「差し上げる」は、目上の人に対して何かをあた与えるときに使う謙讓語なので適當。
 - ④ 「いただく」は、食べる。飲むの謙讓語なので、自分や身内の動作に用いる。「私」が飲んで食べたのだから適當。
- したがって、正解は①。

問題7：

次の(1)・(2)のことわざの意味として最も適当なものを、
後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

設問1：

(1) 一寸の虫にも五分のたましい

- ① 小さな虫でも命をもっている。
- ② 小さくてもあなどってはならない。
- ③ 小さな虫でも大切にすべきである。
- ④ 小さくても強いものもある。

1

2

3

4

設問2 :

(2) 人のうわさも七十五日

- ① うわさが広まるにはたいへん長い時間がかかる。
- ② うわさ話もたくさんあるので七十五日くらいであきる。
- ③ うわさが自分の耳に入るには七十五日くらいかかる。
- ④ うわさ話も長くは続かず、自然に忘れ去られてしまう。

1

2

3

4

問題8：

一つ選べ。

次の①～④の表現のうち、言葉の使い方が適当なものを

設問1：

- ④ ③ ② ①
- ④ 今度は汚名返上を果たすよう、がんばる。
- ③ 彼は急いだ様子で、やおら走り出した。
- ② 舌の先の乾かぬうちに前言をひるがえす。
- ① 三月末の卒業式は暖かい小春日和だった。

1

2

3

4

<問題8の解説>

表現に関する設問。

① 「小春日和」は、冬の初めのころの暖かでおだやかな天気のことなので、春先に使うのは不適當。

② 「舌の先」ではなく、「舌の根」が正しい。「舌の根の乾かぬうち」とは、言葉を言い終わるか終わらないうち、という意味で、前言と反する言動をしたことを非難する表現である。

③ 「やおら」は、動じずにゆったりと動く様子、という意味なので、急に動く様子に使うのは不適當。

したがって、④が正解。なお、「汚名挽回」は「汚名返上」と「名誉挽回」が混ざった、誤った表現である。